

議会改革・議会活性化にかかる各委員会の取り組み II

【予算常任委員会】

- ・3月定例会前に予算委員会を必ず開催するものとする
- ・12月定例会開会中の予算委員会及び3月定例会前の閉会中の予算委員会では、次年度当初予算の新規、重点、大型、廃止、縮小の各事業の報告を受け、協議する
- ・閉会中の予算分科会開催（毎回）を議会の承認を経た上で、所管予算審査のための資料提出を可能にし、総務、福祉委員会ともに閉会中の委員会を予算部会と1セットの同時開催する
- ・審査事項の有無に関わらず、毎本会議で予算委員長（あるいは予算分科会会長として各委員長）が報告する

【視察研修のあり方】

1. 1泊2日で2箇所（初日の午後と二日目の午前に先進地視察）か2泊3日で3箇所（3日目の午前中にも先進地を視察）とする
2. 原則として、同行は議会事務局職員のみとし、所管課長は同行しない

【意見交換会の要領策定】

4年に一度は一般市民との意見交換会を実施し、いただいた意見に対する回答や執行部への提言のあり方などを盛り込んだ要綱を策定する。

【条例提案、政策提言を統括（基第4条、5条及び6条）】

総務、福祉各委員会の所管事務調査や先進地研修を委員長報告や研修報告書の提出のみに留めず、その成果を町政に反映させるため、任期4年に1つ以上の条例提案あるいは政策提言の実施を基本条例の改正及び要領の制定により義務化。

【予算委員会（全体会議）で取り扱う審査事項】

企業会計、各特別会計を除くすべての予算

【予算委員会分科会で取り扱う審査事項】

予算委員会からの指摘事項及び以下

〔総務産業予算分科会〕

水道事業特別会計

公共下水道事業特別会計

農、漁業集落排水事業特別会計

〔福祉文教予算分科会〕

国民健康保険特別会計

介護保険特別会計

【予算委員会分科会（委員会と並行して開催）】

総務産業予算分科会（＝総務産業委員会）、福祉文教予算分科会（＝福祉文教委員会）を設置し、それぞれの所管に係る予算を専権事項として、必要（予算にかかる重要案件）に応じて執行部との協議、また、議員間討議を行い、予算委員長に報告。予算委員長は、「予算委員会全体会議」「閉会中予算委員会」において、各分科会の意見を取りまとめ、要望、意見、決議として執行部に要請、是正を促し、回答を求める。

【総務産業委員会、福祉文教委員会の事前協議】

各委員長（あるいは正副委員長）は、開会中及び閉会中ともに、円滑な運営と生産的、建設的な議論のため、各委員会の開催前に所管課長と事務局を交え協議を行う。

- ・前回委員会の指摘事項
- ・委員長が自らが所管の重点課題と認める懸案事項
- ・現地調査の準備
- ・予算分科会としての協議事項

【視察研修報告書（執行部への要望書）の様式を統一】

視察研修の成果を町政及び議会活動に十分に反映させるため、報告書の様式を統一し、各委員長は、委員の意見や提案を精査し、取りまとめ、委員会の総意として、執行部に要望する。

【意見交換会（執行部への要望書）】

意見交換会の成果を町政及び議会活動に十分に反映させるため、各委員長は、対象となる町民、各種団体からの意見や要望を精査し、取りまとめ、委員会の総意として、執行部に要望する。

【その他】

- ・会期中の常任委員会は別々の日程とする
- ・開会中、閉会中の他委員会委員の傍聴（意見・質問は不可）を許可する